

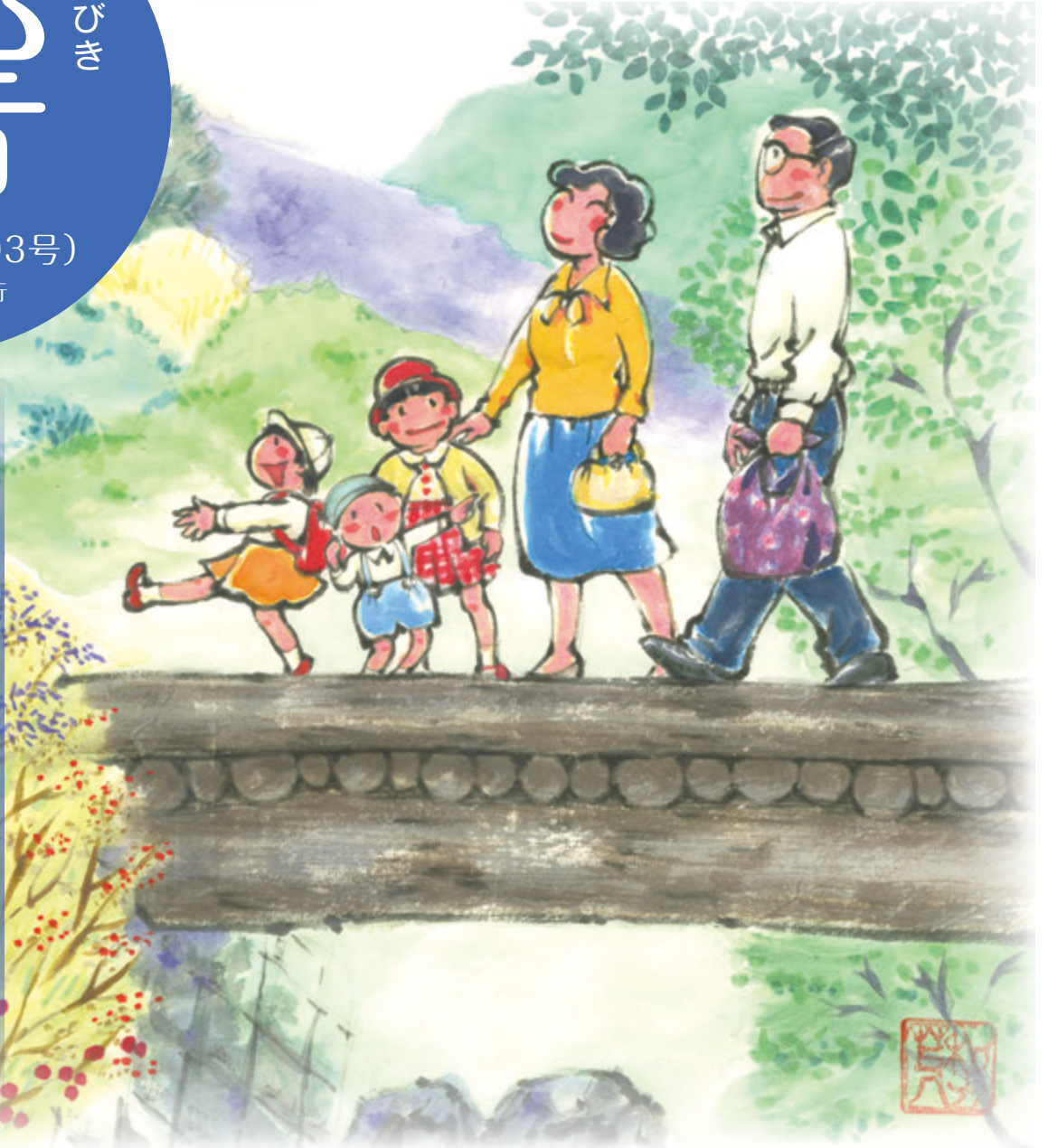
響音

ひびき

第70号(通刊93号)

平成26年5月発行

「響」とは「郷」の「音」と書きます。
私ども東京福祉会では、この温かなものを
大切に「心に響く葬儀」を目指しております。



東京福祉会だより

今号のエッセイ

『飛翔の陰に』

三橋 尚伸 先生

26年度行事予定

「家族葬プラン(道灌山会館限定)」のご案内

お客様からのご意見・ご要望(アンケート)

読者の皆様の作品発表／お知らせ・資料請求

「東京福祉会だより(響)」は、個人会友、
団体会友の皆様をはじめ都内の各福祉事
務所・施設などに、配布しております。

大正8年創立



社会福祉法人 **東京福祉会**

道灌山会館 江古田斎場 ホール多摩国立

飛翔の 陰に

三橋 尚伸



飛躍・飛翔……。午年の今年は、このような言葉で表されることが多いように思います。年賀状にも馬の絵が多く見られました。私たちが持っている馬のイメージが、広大な草地を俊敏に駆け抜ける、活き活きとした躍動的な姿なのでしょう。

一方、一昔前まで人間は、馬に重い荷物や馬車を引かせるなど、荷役の仕事で利用していました。今でも皇室の儀式の時に馬車を引く姿や、皇宮警察官などが馬に乗って隊列を組んで進む姿がテレビに映し出されます。近代になつてからは、馬の利用のされ方と言われて思いつくのは、競馬が多いかもしれませぬ。一部の方々にとっては、乗馬という、唯一動物と共に楽しむスポーツを思い起こすかもしれません。いずれをとっても、現代において馬は、人間が利用する目的で飼い馴らし、繁殖させて売買されている『経済動物』になっています。人間に利用される『経済動物』という名に変えられてしまった動物たちを見ると、私は不穏な気持ちになり、心がザワザワと棘立ってきます。

私は馬が大好きで、馬に触れ、乗り、馬と遊ぶためにあちらこちらに出かけている程です。馬の持つ大きな筋肉の感触と、優しい慈愛に満ちた眼差

しは、私をとてても幸せな気持ちにしてくれます。しかし、躍動感あふれていた馬が、年老いたり怪我をして人間の役に立たなくなった時、どのような後半生が待っているのかを、皆さんは考えたことがあるでしょうか。

例えば、競走馬として利用される二歳から三歳の馬は、人間で換算すると、中学から高校位までの、未熟で成長途中の子どもです。若馬たちは、まだまだ未成熟な骨や筋肉や靱帯などを過酷な訓練によって酷使されて、ひたすら勝負に勝つことを教え込まれます。精神的なストレスもひどく、多くの馬たちが慢性胃潰瘍になつていとも言われています。このような状況下で、良い成績を出せないとか、金を生まない、利用価値が無い、故障したなどという理由で、年間二万頭にのぼる馬たちが殺されます。その時、彼らはそれまでの名前を剥奪され、どこに行つたのかわからないようになるのです。殺処分と呼ばれるこの処置から免れる少数の馬たちの中には、乗馬用に調教し直され、生き延びることが出来る馬もいます。しかしそれでも乗用馬としての適性に問題があったり、故障した場合には、全てではありませんが同じ末路が待っています。残念なことに日本では、怪我や病氣

で引退した馬や老いた馬を、天寿を全うするまで引き受けてくれる牧場は、とても少ないのが現状です。欧米では動物の扱いに関する法律が比較的厳しいこともあって、余生を安楽に過ごせる牧場が日本よりは整つていもの、このような場所で余生を送ることが出来る馬は、やはり多くはないのです。人間の快樂の為に利用し、利用価値が落ちたら殺す使い捨ての現実は、常に裏に隠されているのです。動物が他の命を奪うのは、自分の命を保つためであり、快樂のための使い捨てではありません。

いつから人間は、この世界で一番尊くて偉い存在であると確信するようになっていったのでしょうか。動物には理性が無く、私たちには理性があるから？動物より私たちは能力があると思つているから？他の生き物の命を支配し、人間の都合で命を奪取してもよいという考えの根底には、善悪・尊卑等に代表される二元論が影響しているように思います。人間は選ばれた尊い種であり、人間以外の生き物は、その下に位置する卑しい種であると考えているのでしょうか。この考えによって人間は、自分たちの利益のために他種の命と生きる権利を搾取

し、その行為と考えを正当化し続けてきたのだと、私は考えています。人間を含めた生きる者たちが、それぞれの命を保持するために必要最小限の他者の命を奪うのは、宿命と言えるでしょう。しかし近年、人間が他種に対して行っている行為はどうでしょうか。人間の肥大化した欲望、特に快楽を満たすために他種の命を収奪するだけではなく、命の使い捨てとも言える思考・行動が、近年では人間の世界にも表れてはいないでしょうか。皮膚の色や性別の違い、社会的な肩書や地位の貴賤、普通・正常か異常かなどで、大切にしないといけない命と、粗末にしてもよい命に分けていないでしょうか。動物に対しての考え・態度が、そのまま人間にも反映されているように、私には思えるのです。この現実のままでは、子どもや若者たちに「命を大切にしない」と言う時、一体何が伝わるのでしょうか。

私たちは、自分の行動を正当化する理由が付けられれば、何でもする存在です。親の仇は子どもが討つのが親孝行であると教えられていた時代であれば、仇打ちと称して敵を殺した人は正義の人でした。国家が敵を殺せと命令する時代であれば、敵であると想定さ

れた人間を殺した人が称賛され、この考えが常識として絶対視されます。現在、日本では重罪を犯した人間は、絞首刑という方法で国家によって殺されます。他者を殺したのだから、殺した犯人は殺されて当たり前だという理由で、死刑制度が存続しています。理由は国家のルールになり、重罪は犯人の死をもって償われることになっていません。その私たちが、他国の処刑に対しては残酷であるとか、前時代的であると非難するのを時々耳にします。しかし絶対視されていたはずの考えやルールは、国の支配者や時代が変われば、いとも簡単に変わってきたのではないのでしょうか。世間のルールは、真理ではないからです。仏教で教えられている真理は、人間は縁があれば何でもしてしまう存在であるということです。では、『どうせそのような存在なのだから、何をしてもよいのだ』という考えは、いかがでしょうか。親鸞聖人の手紙の中に、有名な言葉があります。「薬あり、毒を好めと候らんことは、あるべくも候はずと覚え候」。これは、たとえどのような人であっても救うという阿弥陀仏の本願（薬）があるのだから何をしてもよいのだと言って、悪いこと（毒）をしてはなりません、という部分です。限度のない欲に

よって、また縁によって悪を行ってしまつという自分の本当の在り方に気が付いた時、欲にアグラをかけた『どうせ』という生き方から、『このような私だからこそ』という生き方に変わるのではありませんか？ と、親鸞聖人が今も問いかけてくださっておられるのです。

食事をする時、私たちは「いただきます」と口に唱えながら手を合わせていますが、今や、その言葉はただの呪文になり、それに附随したパフォーマンスと化していません。私のために馬やマグロが生まれてきたのではありません。私のために米が芽を出したのではありません。今一度、私たちは他の命を奪取していることに想いを向け、そうしなければ自分の命を保てないという事実を頭に垂れ、私の生のために奪った他の命に、あらためて手を合わせてみてください。これからは、食事に関わった人間の苦勞に対する言葉である「ご馳走さま」ではなく、「私を生かすために他の貴重な命をいただきました 本当にありがとうございました」と心に想い、「ありがとうございました」と、口に出口して見るのもよいかもしれません。

三橋 尚伸(みつはし しょうしん)

真宗大谷派僧侶、産業カウンセラー、日本カウンセリング学会会員（専門は来談者中心療法と交流分析）、ストレスコーピング研究会 相談役、NPO法人がん対策支援センター・キャンサーリンクかながわ 理事、医療リスク・マネージャー

心身の病に苦しむ人々との長年の交流を通じて、様々なことを教わりながら、医療界・仏教界・企業・官公庁などで講演・研修を行うと共に、僧侶カウンセラーとして医療現場にも関わる。面接や電話でのカウンセリングの他に、病院と提携して、医療従事者のメンタルヘルス・ケアの為にカウンセリングも継続している。

仏教とカウンセリングの融合を通して、人間が本来もっている成長力が復活出来るよう、援助したいと願っている。

主な著書：「病」を包む、お見舞い言葉（講談社）等



道灌山会館限定 家族葬プランのご案内

道灌山会館限定 家族葬プラン（～20名様位まで）〈第二式場〉

家族葬

全ての宗旨（仏式、神式、無宗教式等）に対応いたします。

このたび、直営式場の一つである道灌山会館（文京区千駄木）限定の家族葬プランを新たに追加しました。「あたたかさ」をコンセプトに本当に必要なものだけをご用意し、ご家族と親しい方々が落ち着いて故人をお見送りできる、ご家族様の望んでいる内容と近年の葬儀形態とを兼ね併せた形にしました。

また、このプランは暖かいお料理や、心のこもった返礼品でおもてなしが可能で、直営式場限定だからできる内容と価格でございます。今後、展示会等でもご紹介させていただきますので皆様の目でご覧いただき、ご評価をお願いいたします。



親しい人々と過ごす穏やかな時間

含まれる葬祭用品および役務

寝台車 (1回20km迄)	棺(布)	遺影写真	後飾り	ドライアイス 10kg(1日分)	会葬礼状 20枚	霊柩車 (指定車 10km迄)	葬祭関連用品 線香、ローソク 位牌、帳面等	諸手続代行
------------------	------	------	-----	---------------------	-------------	--------------------	-----------------------------	-------

398,000円^(税込)～

※この他、火葬料、式場使用料などの実費料金が必要です。

家族葬限定オプション〈別料金〉

家族葬だからできる、あたたかい、おもてなし

家族葬ならではの、心のこもった返礼品



※多少の人数の増減、料理や返礼品の追加変更も可能です。（～20名様位まで）



※料理イメージ

都内ホテルのあたたかいお料理をご提供させていただきます。

会友(会員)Bプランの特典について

会友(会員)Bプラン加入の方には、式場使用料無料(1日分)、生花(籠花)10%割引、生花一基サービスおよび花とみどりのギフト券(10,000円分)を贈呈いたします。

※会友(会員)の特典である「基本葬祭料金の割引」は適用されません。

道灌山会館 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-52-1

☎03-3823-1192

交通 JR、地下鉄千代田線「西日暮里駅」徒歩約7分

一般葬儀向けの式場と、家族葬に適した式場の2式場を設置。

ご遺体安置施設、宿泊施設完備

26年度行事予定

1. 展示・相談会の開催

平成26年度は「展示・相談会」を全6回、開催いたします。

開催日時（予定）		会場
6/7(土)	10:00~13:00	ホール多摩国立
6/29(日)		江古田斎場
10/5(日)		道灌山会館
10/11(土)		江古田斎場
12/14(日)		道灌山会館
12/14(日)		ホール多摩国立



展示会（イメージ）

2. 「わの会」（和の時Ⅰ、和の時Ⅱ、話の時）開催

「悲しみや苦しみをのりこえ、心の安らぎを…」を合い言葉に発足された「わの会」。
平成26年度は「和の時Ⅰ」、「和の時Ⅱ」、「話の時」それぞれ4回開催いたします。

「わの会」を行い私どもが感じたことは、喪失体験の感じ方は人それぞれであり、その感情を抑えて日々生活を送らなければならない現実があるということです。そして、そのような方々の心の拠りどころとしてこの「わの会」を行うことを東京福祉会の務めとしなければならないということも痛切に感じました。

この「わの会」は「和の時」に参加してから「話の時」に参加するというルールを守れば、どなた様でも、何回でもご参加できます。もし、悲しみからなかなか立ち直れない、その時のお話を誰かに聞いて欲しい、または聞きたい、そう思われた方はぜひご参加ください。

区分	形式	備考
和の時Ⅰ	講話会	葬儀を終えられてから「1年以内」の皆様
和の時Ⅱ	講話会	どなた様でもご参加できます
話の時	参加者の皆様に若干名のグループに分かれていただき、実際にご自分の体験や、感じたことなどを声に出してお話いただく会です。なお、無理にお話を聞き出す事はいたしません。他の方のお話を聞いていただくだけでも構いません。各グループに一人「ファシリテーター」（うながす者という意味です。）と呼ばれる会をスムーズに進行する者が加わります。	1、「話の時」に参加される前に必ず「和の時」にご参加ください。 2、参加の際は次の3つのルールをお守りください。 ①その場でお話をされた内容は外に持ち出さない。 ②その内容を記録（録音・メモなど）に残さない。 ③他人を否定・中傷するようなことは言わない。

開催区分	開催日時（予定）	対象者	備考	会場
和の時Ⅰ	5/15(木) 10:00~13:00	平成25年4月以降にお葬儀を終えられた方	昼食をご用意させていただきます	江古田斎場
和の時Ⅱ	5/21(水) 10:00~12:00	どなた様でもご参加できます	昼食はございません	
話の時	6/25(水) 10:00~12:00	「和の時」に参加された方	昼食はございません	
和の時Ⅰ	8/21(木) 10:00~13:00	平成25年7月以降にお葬儀を終えられた方	昼食をご用意させていただきます	
和の時Ⅱ	8/25(月) 10:00~12:00	どなた様でもご参加できます	昼食はございません	
話の時	9/29(月) 10:00~12:00	「和の時」に参加された方	昼食はございません	
和の時Ⅰ	11/10(月) 10:00~13:00	平成25年10月以降にお葬儀を終えられた方	昼食をご用意させていただきます	
和の時Ⅱ	11/26(水) 10:00~12:00	どなた様でもご参加できます	昼食はございません	
話の時	12/25(木) 10:00~12:00	「和の時」に参加された方	昼食はございません	
和の時Ⅰ	H27.2/9(月) 10:00~13:00	平成26年1月以降にお葬儀を終えられた方	昼食をご用意させていただきます	
和の時Ⅱ	H27.2/20(金) 10:00~12:00	どなた様でもご参加できます	昼食はございません	
話の時	H27.3/20(金) 10:00~12:00	「和の時」に参加された方	昼食はございません	

- 開催日時は、都合により変更する場合がございますので、事前にお問い合わせください。
- 参加ご希望の方は、右記の番号まで
①参加希望日 ②お名前 ③住所・電話番号(任意) ④参加人数
を開催日の2週間前までにご連絡ください。

●お問い合わせは●

社会福祉法人 東京福祉会 渉外部

電話03-3823-8026

〈月~土/9:00~17:00〉

お客様からのご意見・ご要望 (アンケート)

東京福祉会では、ご利用いただきましたお客様から、率直なご意見・ご感想をいただき、今後のサービス向上に資するため、アンケートへのご協力をお願いしております。平成25年度の集計結果は次のとおりです。

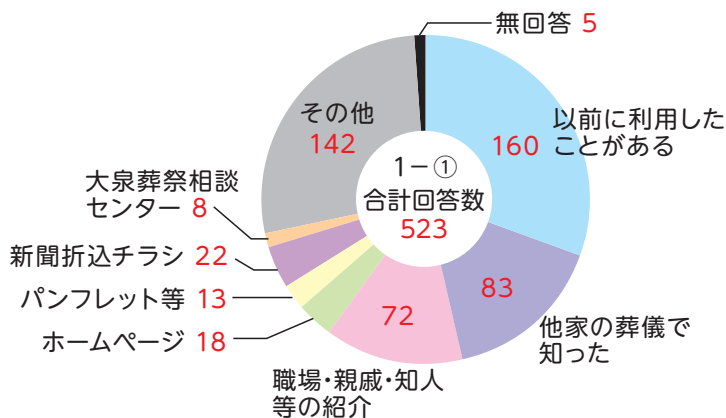
お寄せいただいた貴重なご意見等につきましては、サービス向上の研鑽の糧として、今後一層質の高いサービスに努め、「心に響く葬儀」をサポートさせていただけるよう心掛けてまいります。



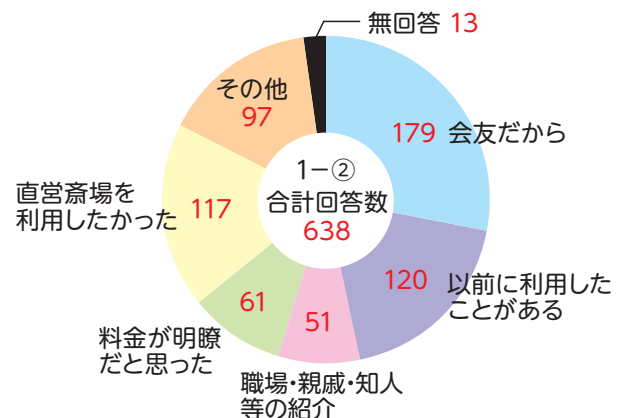
1

葬儀依頼の経緯についてお伺いします

①東京福祉会をどのようにして知りましたか
(複数回答可)



②今回、東京福祉会に葬儀を依頼した理由について
教えてください(複数回答可)



2

電話の対応についてお伺いします

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①態度、言葉づかい	350	60	8	1	0	5
②質問等に対する説明	350	59	9	0	0	6
③話をよく聞いてくれた	354	58	4	0	0	8



3

担当職員についてお伺いします

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①身だしなみ(服装・清潔感)	384	34	5	0	0	1
②誠実さ、態度、言葉づかい	383	36	4	0	0	1
③安心して任せることができた	381	37	5	0	0	1



アンケートの概要

- ◆実施期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
- ◆発送数：1,292通 返信数：424通



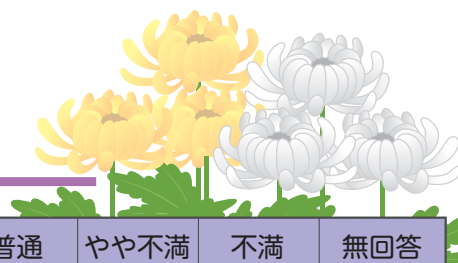
4

葬儀の打合せについてお伺いします

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①誠実さ、態度、言葉づかい	363	44	5	0	0	12
②料金や内容等についての説明	326	67	17	1	0	13
③葬儀に関する全体的な説明	339	62	11	0	0	12
④要望をよく聞いてくれた	357	45	8	1	0	13

5

通夜・葬儀等についてお伺いします

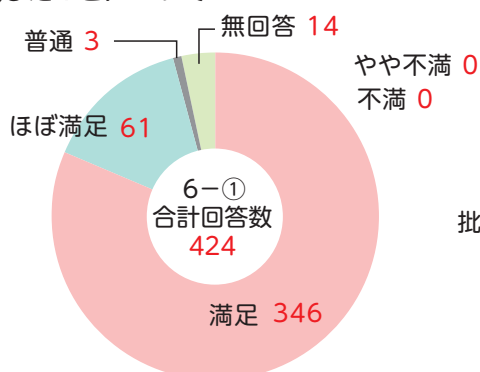


	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①祭壇・オプション品等	341	66	5	0	0	12
②式の全体的な進行	336	63	9	2	0	14
③職員の態度、言葉づかい	340	63	6	0	0	15
④司会	322	52	15	3	0	32
⑤通夜料理の味・内容	244	75	31	11	1	62
⑥精進落とし料理の味・内容	247	88	31	4	1	53
⑦火葬場での対応	295	75	26	3	1	24

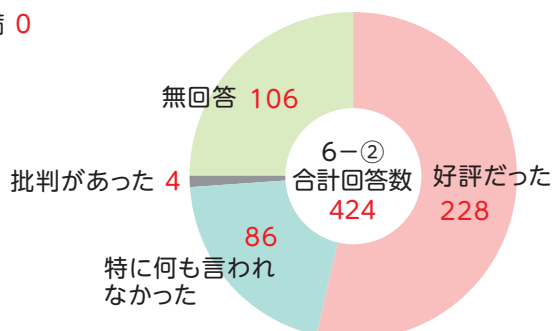
6

今回の葬儀全体についてお伺いします

①今回、葬儀を東京福祉会に依頼したことについて



②会葬者のご感想



写真

K.K
(川口市在住)



エヴェレスト (8848m=最高峰)・ローツェ (8516m=4位)・マカルー (8463m=5位) 撮影：レンジョパス (5400m)

読者の皆様の作品

俳句

K.K (港区在住)

人の行く方へ方へと花見かな
母に添ふ歩幅小さく薔薇の園
菖蒲田の番号順に巡りけり

S.K (練馬区在住)

桜散り空清みわたり仏生会
徒然に一人文書く春時雨
五月雨や光きらめく七変化



エヴェレスト・ローツェ 撮影：ビューホテル (3880m)

<お知らせ>

東京福祉会では消費税率の改正に伴い、平成26年4月1日から消費税率8%を適用させていただいております。つきましては、新しい料金表をご用意しておりますので、お気軽にお問い合わせ・ご請求ください。お問い合わせ・料金表の請求先は右記のとおりです。

■ 葬儀に関する詳しい資料 (施設案内、料金表<仏式、神式、キリスト式、花祭壇など) をご用意しております。お気軽にご請求ください。



- ① 仏式のご案内 ② 花祭壇のご案内 ③ 道灌山会館のご案内 ④ 江古田斎場のご案内 ⑤ ホール多摩国立のご案内 ⑥ 会友制度のご案内 ⑦ 葬祭のしおり

■ 各種相談のお問い合わせ・資料のご請求はこちらまで

電話 **03-3823-8026**

東京福祉会 渉外部

<E-mail> info@fukushikai.com

東京福祉会

検索

<http://www.fukushikai.com>



「東京福祉会だより (響)」は再生紙を使用しています。